

第1学年 国語科学習指導案

指導者 塚田 真紀子

場 所 1階1年教室

1. 単元名 くらべてよう

教材名「じどう車くらべ」

4. 指導計画と評価計画（総時数 14 時間）

時次	目標	主な学習活動	評価規準（評価方法）	評価観点			
				関	書	読	言
1	「じどう車くらべ」を読み、学習の見通しをもつことができる。	・「じどう車くらべ」を読み、挿絵や経験をもとに話し合い、「じどう車パンフレット」を作ることに関心をもつ。	・説明文に興味をもち、学習の見通しをもとうとしている。（発言・行動観察）	○			
2	「仕事」と「つくり」を確かめながら読むことができる。	・教材文の写真と文を照応させながら、「仕事」と「つくり」の関係の大体をつかんで読む。	・「仕事」に対応する「つくり」に注意しながら読んでいる。（発言・教科書の書きこみ）			○	
3	事柄の順序を考えて、簡単な構成の文章で書いてあることに気付くことができる。	・「バス」や「じょうよう車」の文章を視写して「仕事」と「つくり」の関係と文章の構成に気付く。	・「バス」や「じょうよう車」の文章を視写して「仕事」と「つくり」の関係と文章の構成に気付いている。（視写文）		○		
4	事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、大事な文章や言葉を書き抜くことができる。	・「そのために」をつかって「トラック」の「仕事」と「つくり」を書く。	・「トラック」の「仕事」と「つくり」について、大事な文章や言葉を落とさずに書いている。（ワークシート）			○	
5	事柄の順序を考えながら内容の大体を読み、大事な文章や言葉を書き抜くことができる。	・「そのために」をつかって「クレーン車」の「仕事」と「つくり」を書く。	・「クレーン車」の「仕事」と「つくり」について、大事な文章や言葉を落とさずに書いている。（ワークシート）			○	
6	教材文と挿絵をもとに、3つ目の「つくり」を書くことができる。	・「トラック」「クレーン車」の教材文をもとに、3つめの「つくり」を考えて書く。	・教材文と挿絵をもとに、3つ目の「つくり」を書いている。（ワークシート）		○		
7	3つの自動車を比べ、「仕事」によって「つくり」に違いがあることに気付くことができる。	・3つの自動車を比べ、自動車の「仕事」によって「つくり」に違いがあることに気付く。	・3つの自動車の「仕事」によって「つくり」に違いがあることに気付いている。（発言）			○	
8 本時	「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を考えて説明することができる。	・教材文をもとに、「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を説明する。	・「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を考えながら説明している。（カード・ワークシート）			○	
9	書いた説明文をもとに自動車の「つくり」にあった絵を書くことができる。	・書いた説明文をもとに自動車の「つくり」にあった絵を描く。	・書いた説明文をもとに自動車の「つくり」にあった絵を描いている。（ワークシート）	○			
10	自動車の絵本や図鑑から、書きたい自動車の情報を集めることができる。	・書きたい自動車の「仕事」と「つくり」に関する言葉や文章、絵を見付ける。	・自動車の絵本や図鑑から、書きたい自動車の情報を集めている。（発言・メモ）	○		○	
11	書きたい自動車を選んで「仕事」と「つくり」を考えて書くことができる。	・選んだ自動車の「仕事」と「つくり」を説明する文章を書く。	・書きたい自動車を選んで「仕事」と「つくり」を考えて書いている。（ワークシート）		○		
12	正しい片仮名や漢字を使って、説明する文を書くことができる。	・書いた文章を読み返し、正しい片仮名や漢字を使って説明する文を書く。	・正しい片仮名や漢字を使って説明する文を書いている（ワークシート）		○		○
13	書いたものを読み合い感想を伝えることができる。	・友だちの書いた説明文を読み合い、感想を話し合う。	・書いたものを読み合い感想を伝え合っている。（話し合い）			○	

5. 本時の学習（第8時）

- (1) ねらい 「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を考えて説明することができる。
- (2) 評価規準 読「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を考えながら説明している。
- (3) 準備 挿絵、カード、ワークシート、ポスター、図鑑、絵本、DVD
- (4) 展開

過程	学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価◎ 支援○
つかむ (5) 考える (10) 学び合う (20) まとめる (5)	1. 前時を振り返り、本時の課題をつかむ。 ・クレーン車をよむと、「しごと」にぴったりの「つくり」がわかるよ 課題 はしご車の「しごと」にぴったりの「つくり」をかんがえて、せつめいしよう。 2. はしご車の「仕事」について考える。 ○はしご車は、どんな「仕事」をしますか。 ・かじのときにはたらくよ ・たかいところのひをけすよ だいじなしごと! ・たかいところの人をたすけるよ 3. 挿絵や知っていることをもとに、「仕事」にあった「つくり」を考える。 ○「しごと」にぴったりの「つくり」を考えてカードに書きましょう。 ・ながいはしごが、ついているよ ・はしごが、のびるよ ・はしごのうえに、かごがついているよ ・ひとが、のるところがあるよ ・しっかりとしたあしが、ついているよ 4. 「しごと」にあった「つくり」を考えて、その理由を説明する。 ○「しごと」にぴったりの「つくり」を見つけましょう。その理由もお話しましょう。 しごと はしご車は、たかいところにいる人をたすけるしごとをしています。 ・はしごがのびます。それは、たかいビルのうえにいる人をたすけるからです。 ・おおきなかごがついています。だって、たすけた人をのせるからです。 ・そとにうんでんせきがあるます。そのわけは、はしごをうごかしたり、のぼしたりするからです。 ・しっかりとあしがついています。なぜかという、車たいが かたむかないようにするからです。 5. 考えをもとに、はしご車の「仕事」と「つくり」を説明する文を書く。 ○はしご車の「仕事」にぴったりの「つくり」を説明する文を書きましょう。 <考えた文例> はしご車は、たかいところの人をたすけるしごとをしています。 そのために ①たかいところまで、はしごがのびるようにつくってあります。 ②たすけた人をのせるかごがついています。 6. 学習をまとめる まとめ はしご車の「しごと」にぴったりの「つくり」をせつめいすることができた。 ○はしご車のDVDの説明を聞いてみましょう。 ・はしご車の「しごと」にぴったりの「つくり」になっていたね	・前時までに学習したクレーン車の学習掲示を見て、意欲づけをする。 ・はしご車の挿絵やポスターを提示して意欲づけをする。 ・P. 27「はしご車は、かじのときにはたらくじどう車です。」を参考にして「仕事」を考えさせる。 ・「仕事」に結び付く「つくり」を挿絵から、見つけ出すように助言する。 ・挿絵を見て、カードにはしご車の「つくり」を書き、絵に貼る。 ・考えが出にくい場合は、図鑑や絵本などで、はしご車をみせてヒントになる言葉に気付かせる。 ・はしご車の「仕事」にぴったりの「つくり」のカードを取り出させる。 ◎「はしご車」の「仕事」と「つくり」の関係を考えながら説明している。 (カード・ワークシート) ○挿絵やカードから「仕事」にあった「つくり」を見つけさせ、その理由を考えさせる。 ・「仕事」にあった「つくり」の根拠や理由を考えさせる。 ・自分の考えを述べる時は、三角ロジックを使って説明させる。 「～からです。」 「だって、～だからです。」 「～するからです。」 「なぜかという～だからです。」 ・「仕事」にあった「つくり」を説明する文を全体で考える。 ・「仕事」と「つくり」をそのためにで、つなげて書くことを確認させる。 ・「つくり」は2文で書く。 ・文末の表現に注意させる。 「つくってあります。」 「～がついています。」 「～になっています。」 ・考えた説明が、DVDの説明と同じであることに気付かせ、「仕事」にあった「つくり」の説明ができたことを実感させる。

(5) 筋道を立てて説明するための本時の位置付け

付けたい力	教師が求める説明	支援
・「仕事」にぴったりの「つくり」を考えて説明することができる。	・「はしご車は、～につくってあります。だって、～だからです。」 ・「はしご車の～は、～になっています。なぜかという～だからです。」	・三角ロジックを用いて、自分の考えの根拠や理由を見つけて話すことを指示する。

(6) 板書計画

